

## 学校関係者評価表（中間評価）

江田島市立三高小学校

学校関係者評価委員によるご意見（中間評価について）

評価項目	学校関係者評価
計画、目標等の設定の適切さ	<p>○適切である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中期経営目標を達成させるための短期経営目標に整合性があり、具体的な取組が行われ、数値もほぼ目標値通りである。</li> <li>・ 学校としての新たな取組や様々な工夫が見られ、取組の筋が 1 本通っているのがよくわかる。</li> <li>・ 無理のない目標で、計画性も適切である。</li> <li>・ 少子高齢化、人口減少等不安ではあるが、児童が郷土に愛着と誇りを持ち、自立・共生・生きる力の育成につながっていくと思う。</li> </ul>
実際の取組の適切さ	<p>○適切である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取組が具体的で、自由進度学習等での教師の手立てが的確である。</li> <li>・ 児童の選択と決定を大切にすることで、児童が生き生きと活動している。</li> <li>・ 児童を育成するために体験活動に重点を置き、児童の主体性を発揮させる取組が行われその成果が表れている。</li> <li>・ 児童の様子が大変落ち着いているので、取組の仕方が適切なのだと思う。</li> <li>・ 高学年の複式学級で、黙々と学習に取り組む児童の姿から自由進度学習の成果が見込まれる。</li> <li>・ 縦割りグループの活動、集中合同の活動等々、本校の特色を生かした取組をたくさん経験してほしい。</li> </ul>
自己評価の結果の内容の適切さ	<p>○適切である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状をしっかりと把握し、児童の主体性や、やる気をうまく発揮させた結果、児童は生き生きと活動できている。</li> <li>・ 児童や教職員の現状をよく把握し、課題の分析も的確である。</li> <li>・ 取組の成果が数値として表れている。</li> <li>・ 働き方改革について、職員みんなで考え、話し合う姿が児童にも影響していると思う。</li> </ul>
今後の改善策の適切さ	<p>○適切である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状からの課題分析ができているので、その改善策が具体的でわかりやすい。</li> <li>・ 評価の数値を上げるのは難しいと思うが、時には他者からの思いやりある言葉かけのやり取りなど工夫してみるとよい。</li> <li>・ 学びに向かえる環境作りはとてもよかった。</li> <li>・ 道徳教育は心育てにはとても大切な生きる力の土台となる教育。道徳コーナーで可視化するの。もよい取り組みだと思う。</li> </ul>